

沿革

- 昭和32年 6月 1日●北陸電波学校開校
- 昭和33年 4月 1日●北陸電波専門学校開校
- 昭和34年 4月 1日●北陸電波高等学校開校
- 昭和37年 4月 1日●金沢工業高等専門学校開校電気工学科設置（定員135名3学級）
初代校長に青山兵吉就任
- 昭和38年 4月 1日●機械工学科増設（定員90名2学級）
- 昭和39年 9月28日●体育館完成
- 昭和40年 4月 1日●金沢工業大学開学
- 昭和40年12月 4日●金沢工業高等専門学校第二代校長に竹村重武就任
- 昭和42年10月18日●第2種電気主任技術者免状交付申請校に認定
- 昭和43年 3月 1日●第2級無線技術士予備試験の免除校に認定
- 昭和43年11月 5日●能登半島国定公園に穴水湾自然学苑開苑
- 昭和44年 1月16日●情報処理センター（現情報処理サービスセンター）開設
- 昭和44年 4月 1日●教育工学研究所（現情報処理サービスセンター）開設
- 昭和48年 9月21日●扇が丘診療所開設
- 昭和52年 5月19日●天池自然学苑開苑
- 昭和53年 6月 1日●金沢工業高等専門学校第三代校長に新名健吉就任
- 昭和57年 6月 1日●ライブラリーセンター開館
- 昭和61年 4月 1日●金沢工業高等専門学校第四代校長に佐久間亘就任
- 昭和62年 8月13日●工事担任者試験（電気通信事業法による）の一部免除校に認定
- 昭和63年 4月 1日●電気工学科1学級増
- 平成 2年 4月26日●第2体育館完成
- 平成 3年 4月 1日●金沢市久安2丁目270番地にて新校舎完成
- 平成 5年 7月 8日●夢考房開設
- 平成 7年 4月 1日●金沢工業高等専門学校第五代校長に堀岡雅清就任
- 平成 7年 5月23日●シンガポール理工学院と協力協定調印
- 平成 7年 7月12日●セントマイケルズ大学と協力協定覚書調印
- 平成 8年 4月 1日●マルチメディア考房開設
- 平成 9年 4月 1日●創造技術教育研究所開設
- 平成10年12月14日●池の平セミナーハウス開設
- 平成14年12月17日●ニュージーランド国立オタゴポリテクニクと協力協定覚書調印
- 平成15年 4月 1日●電気工学科を電気情報工学科に名称変更（定員45名1学級）
国際コミュニケーション情報工学科増設（定員45名1学級）
- 平成18年 4月 1日●金沢工業高等専門学校第六代校長に山田弘文就任
- 平成19年 4月 1日●地域連携教育センター開設
- 平成21年 4月 1日●電気情報工学科を電気電子工学科に名称変更（定員40名1学級）
機械工学科募集定員変更（定員40名1学級）
国際コミュニケーション情報工学科をグローバル情報工学科に名称変更（定員40名1学級）
- 平成22年12月 9日●世界的工学教育組織「CDIO イニシアチブ」に加盟
- 平成26年 4月 1日●金沢工業高等専門学校第七代校長にルイス・パークスデール就任
- 平成26年 6月30日●ホーチミン市工業大学と協力協定覚書調印
- 平成27年 4月 1日●グローバル情報学科増設（定員40名1学級）
グローバル情報工学科学生募集停止
- 平成27年11月18日●マレーシア国立マラ工科大学と協力協定覚書調印
- 平成28年 4月13日●シンガポール工科大学と協力協定覚書調印
- 平成29年 3月 6日●ムハマディア大学ジョグジャカルタ校と協力協定覚書調印
- 平成30年 3月26日●白山麓キャンパス開設
- 平成30年 4月 1日●校名を国際高等専門学校に変更
国際理工学科増設（定員90名2学級）
電気電子工学科・機械工学科・グローバル情報学科学生募集停止
- 令和 2年 4月 1日●国際理工学科募集定員変更（定員45名1学級）
- 令和 3年 1月13日●ホーチミン市工業大学及び越日工業大学と協力協定覚書調印